



貴船だより

令和5年2月28日発行 第12号

大田区立大森第一小学校

校長 鈴木 伸作

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

学校 HP もご覧ください。 <http://academic2.plala.or.jp/omr1-e/>

「展覧会・学校公開」「地域にかかわる授業」 について

副校長 神戸 大石

真冬の寒さも和らぎ、一日一日と春の日差しが感じられるようになってきました。

2月3日（金）、4日（土）は展覧会・学校公開を行いました。展覧会では子どもたちの創意工夫溢れる作品をご鑑賞いただけたかと思えます。学校公開では、授業を通して子どもたちの活躍する場面が多くあったかと思えます。展覧会・学校公開のアンケートでは、タブレットからの電子データでのご回答にご協力いただきありがとうございます。いただいたご意見を活かして次回の展覧会や学校公開に活かしていきたいと思えます。

コロナ禍で海苔付け体験は実施できませんでしたが、3年生対象で「大森海苔の講話」で詳しいお話を聞いたり、「大森海苔のふるさと館」へ行って海苔について学習したりすることができました。次年度も地域教材を活かした授業展開ができればと思えます。

先日、5年生の子どもたちから「花と植物を大切にす私たちのメッセージを地域の方に伝えたい」との話がありました。担任の先生を通してメッセージを録音したCDを預かり、地域教育連絡協議会で地域の皆様に聴いていただきました。子どもたちの願いが伝わり、「ぜひ、放送します」と地域の方々からご快諾をいただきました。子どもたちのアイデアや想いをすぐに取り入れていただく地域の皆様の温かい心に感謝いたします。今後も引き続き、光輝く大森第一小学校の子どもたちをご支援いただけたらと思えます。

一年間のまとめとなる3月は、この一年間の自らの成長を認め合い、次年度への意欲をもとに更なる目標を立てていく時期かと思えます。学習や生活を振り返るよい機会ですので、ぜひご家庭でもお子様と一緒に次年度についてお話していただけたらと思えます。

春休みの過ごし方

生活指導主任 平間 詩乃

春休みは、成長を振り返るとともに新しい学校・学年へ向けて新年度を迎える準備をするために重要な時期です。今年度は、自転車の乗り方（ヘルメットの着用）や放課後の遊び方、SNSの使い方について各学年で指導しました。また、心配事や悩みがある時は誰かに相談することも学年に応じて話をしています。「春休みのしおり」（後日配布）や「困ったときの相談窓口」（配布済）もご参照いただき、お子様が安心して楽しい春休みを過ごせるよう、ご家庭でも見守ってください。

| 日 | 曜日 | 3月行事予定 ()数字は学年 | 放課後遊び |
|----|----|------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 水 | たてわり班引き継ぎ (5・6) | |
| 2 | 木 | 3年生5時間授業 保護者会 (1~3) | |
| 3 | 金 | 衛生チェック | |
| 4 | 土 | | |
| 5 | 日 | | |
| 6 | 月 | ありがとうキャンペーン 全校朝会 クラブ活動 (4~6) | |
| 7 | 火 | 体育朝会 (3・5)・補習教室 なかよしタイム | ○ |
| 8 | 水 | ↓ 体育朝会 (2・4) 下校指導 (1) | |
| 9 | 木 | 体育朝会 (1・6)・誕生会給食・補習教室 | |
| 10 | 金 | 安全指導 読書タイム | ○ |
| 11 | 土 | 土曜授業 土曜補習 | |
| 12 | 日 | | |
| 13 | 月 | 一校一取組 全校朝会 委員会活動 (4年代表・5・6) | |
| 14 | 火 | 音楽朝会 補習教室 | ○ |
| 15 | 水 | | |
| 16 | 木 | 補習教室 | |
| 17 | 金 | ↓ 記名タイム | |
| 18 | 土 | | |
| 19 | 日 | | |
| 20 | 月 | 全校朝会 特別時程 (1~4) 卒業式予行 | |
| 21 | 火 | 春分の日 | |
| 22 | 水 | 大掃除 給食終 卒業式前日準備 (5) | |
| 23 | 木 | 卒業式 (6) | |
| 24 | 金 | 修了式 通常4時間授業 | |
| 日 | 曜日 | 4月行事予定 ()数字は新学年 | |
| 5 | 水 | 春季休業日終 前日登校 (2・6) | |
| 6 | 木 | 始業式 入学式 保健調査票配布 (1) | |
| 7 | 金 | 定期健康診断始 大森東中学校入学式 保健調査票配布 (2~6) 給食始 (2~6) 発育測定・視力・聴力 (4~6) | |

☆3月の避難訓練は、日時の予告なしで行います。

☆4月の詳細な予定は、貴船だより4月号(4/6発行)でご確認ください。

3月
目標

生活目標「学年のまとめをしよう」

保健目標「健康生活のふりかえりをしましょう」

給食目標「楽しく食事をしよう」



4年生の教室から

4年担任 大崎 和彦 五十嵐 友一 梅川 颯太

4年生はこの1年間、総合的な学習の時間で「東京」をテーマに学習に取り組んできました。東京都の魅力を再発見しようと、様々なテーマで調べ学習に取り組んだ1学期。東京の産業や自然、観光など、多面的に私たちが暮らす東京都に関する情報を集めました。伝統工芸品をはじめとする東京で作られているものをパンフレットにまとめた2学期。東京タワー、浅草を見学した社会科見学で、世界から多くの人々が集まる観光地を自分の足で歩いて学んだことが、東京の多様性を実感する経験となりました。

また、実際に体験した「大森麦わら細工」について、その歴史、材料となる麦わらの特徴やはり方、体験教室で制作した作品の紹介の3点を動画にまとめて、3年生に発表しました。歴史に関しては、落語風に伝えたり歌を交えたり、3年生にも分かりやすく発表することができました。麦わらのはり方に関しては、麦わらを実際に割いたり、開いたりする作業を実演しました。更に、展覧会の学年共同作品では、体験教室で学んだ麦わら細工の手法を活用し、わらを切ったり伸ばしたりしたものを貼り付け、大きなタペストリーを完成させることができました。でき上がったタペストリーは昇降口に掲げてありますので、ぜひご覧ください。

1・2学期のこれらの経験や学びを通して、子どもたちは文字通り「東京はかせ」に一步近づいたようです。

3学期は、1・2学期に学んだことを「発信」する行動をメインとして学習をすすめています。今回は、いくつかのテーマのグループに分かれて、ポスターセッション方式で発表することをゴールとして活動します。テーマは東京の観光名所について、伝統工芸品について、自然について、郷土料理についてなど様々で、クラスのグループによって違います。

これから発表に向けて、発表内容の見通しを立てたり、役割分担をしたりして準備をすすめていく予定です。グループのみんなの学びが一つの大きな成果となって披露できるように指導していきたいと思っています。



教育活動のふりかえり

教務主任 大崎 和彦

今年度も「教育活動ふりかえりアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。皆様からより多くのお声を頂戴したく、担任からお子様を通して声を掛けさせていただきましたが、8割を超える回答率の高さからは、保護者の皆様の教育への関心の高さを改めて実感する結果となりました。

今回の結果(別紙参照)では、「学校は、子どもたちにとってわかりやすい授業をしている」「学校は、基礎的・基本的な学力の定着に取り組んでいる」「タブレットPC等のICT機器を活用した教育活動を行っている」などの項目で、多くの方に「そう思う」と答えていただきました。タブレットやデジタル教科書を活用するなどの、子どもたちの理解を深めるための授業計画や教材・教具の工夫が徐々に実を結んできていることが数値に反映されていると推測されます。

その反面、「主体的な学習態度」や「学ぶ意欲・学ぶ力」に関する項目については、昨年度までと同様に数値は大きく好転せず、引き続き今後の重要課題として取り組んでいく必要があることが明らかとなりました。コロナ禍による度重なる行事日程・方法の変更等、じっくりと落ち着いて学習に取り組むことが難しい状況下ではありましたが、皆様からいただいたご意見を、これからの教育活動に反映させられるよう努めてまいります。

今年度も、大森第一小学校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございました。今後も、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度の研究報告

研究主任 安江 航平

教員の授業力向上のために、今年度も全学年で研究授業を行い、講師の先生方を招いてご指導いただきました。

＜今年度ご指導いただいた先生方＞

目白大学 教授 石田 好広 先生
立正大学 講師 清水 一豊 先生

今年度は「問題解決的な学習の充実を図る指導の工夫～理科、生活科の考察場面の指導を通して～」という研究主題を掲げ、児童の問題解決能力の向上を目指してきました。ご指導いただいた大学の先生方からは、「児童が学んだことを振り返り、言葉で表現することができていた」といった、肯定的な評価をいただきました。今年度に養った能力を、次年度以降も、理科と生活科に限らず、全教科等の学習の中で、生かしていけるように指導してまいります。

今年度も本校の研究活動を知っていただきたく、保護者の皆様に「研究だより」を学年ごとに発行しました。児童と共に、教員も学び続けようとする姿が、少しでも伝われば幸いです。

次年度は、新たな研究テーマを模索しております。皆様のおかげで本校がこれまで培ってきた、「地域、保護者、学校」が連携した教育を更に前進させ、ESDや「ものづくり」といった新たな教育課題の視点も取り入れて、本校独自の教育をデザインしてまいります。